



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月10日

上場会社名 株式会社ラウンドワン

上場取引所 東

コード番号 4680 URL https://www.round1.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 杉野 公彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 佐々江 慎二 TEL 06-6647-6600

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日

配当支払開始予定日 2023年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家向け)

(百万円未満切り捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	76,830	13.8	10,477	51.2	10,515	47.8	7,789	48.6
2023年3月期第2四半期	67,487	63.2	6,929	—	7,115	—	5,241	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 10,711百万円 (6.8%) 2023年3月期第2四半期 10,027百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	28.76	28.71
2023年3月期第2四半期	18.29	18.29

(注) 当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	181,772	63,648	34.8	235.21
2023年3月期	170,623	61,180	35.7	217.30

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 63,334百万円 2023年3月期 60,942百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	12.00	—	4.00	—
2024年3月期	2.50	2.50	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	3.50	3.50	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日(2023年11月10日)公表の「2024年3月期第2四半期連結業績予想と実績との差異および通期連結業績予想の修正ならびに年間配当金(予想)の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。そのため、2023年3月期の年間の配当予想につきましては単純合計ができないため、表示しておりません。なお、株式分割を考慮しない場合の2023年3月期の期末配当金は12円、年間配当は24円、2024年3月期の年間配当予想は36円であります。

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	157,584	10.9	22,878	35.2	22,635	35.6	14,004	43.8	52.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	287,358,642株	2023年3月期	287,358,642株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	18,092,466株	2023年3月期	6,902,126株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	270,856,205株	2023年3月期2Q	286,551,765株

(注) 当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の規制緩和に伴うリバウンド需要やインバウンド消費回復の影響を受け、物価上昇の下押しはあるものの緩やかな回復基調が続いております。

他方、世界経済においては、国際情勢等の影響を注視する必要がある状況は続いているものの、引き続き個人消費は堅調に推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは日本国内において、2023年7月に初のクレーンゲーム専門店となるクレーンゲームパーク調布駅前店をオープンするとともに、引き続き一部店舗の「ギガクレーンゲームスタジアム」への改装を順次実施いたしました。また、アーティストやアニメ等との期間限定コラボキャンペーンや、テレビコマーシャルの全国放送の実施等、業績向上に努めました。

米国においては、営業基盤を強化すべく、新店舗オープンの準備を進めるとともに、「Mega Crane Zone」への改装をはじめとするアミューズメント機器の積極的な導入を行いました。また、昨今の経済状況を勘案しアミューズ部門にて料金の見直しを行っております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高76,830百万円（前年同四半期比13.8%増）、営業利益10,477百万円（前年同四半期比51.2%増）、経常利益10,515百万円（前年同四半期比47.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益7,789百万円（前年同四半期比48.6%増）となりました。

なお、当社が運営する屋内型複合レジャー施設は、お盆期間やお正月期間等長期休暇の多い第2四半期及び第4四半期に売上高が増加する傾向があり、四半期毎で経営成績の偏りが生じます。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(日本)

2023年7月に初のクレーンゲーム専門店となるクレーンゲームパーク調布駅前店をオープンするとともに、引き続き一部店舗の「ギガクレーンゲームスタジアム」への改装を順次実施いたしました。その他、スポッチャ部門におきましても、新アイテムの導入を行っております。また、アーティストやアニメ等との期間限定コラボキャンペーンや、テレビコマーシャルの全国放送の実施等、業績向上に努めました。

以上の結果、ボウリングは前年同四半期比11.5%増、アミューズメントは前年同8.6%増、カラオケは前年同24.9%増、スポッチャは前年同20.5%増となりました。

(米国)

営業基盤を強化すべく、新店舗オープンの準備を進めるとともに、「Mega Crane Zone」への改装をはじめとするアミューズメント機器の積極的な導入を行いました。また、昨今の経済状況を勘案しアミューズ部門にて料金の見直しを行っております。

以上の結果、ボウリングは前年同四半期比2.7%増、アミューズメントは前年同15.9%増、カラオケは前年同18.4%増、スポッチャは前年同14.4%増となりました。

(その他)

その他の事業セグメントにおいては、日本・米国以外の地域に出店準備を進めております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ11,148百万円増加の181,772百万円となりました。この要因は、現金及び預金が3,376百万円増加、貯蔵品が509百万円増加したこと等による流動資産の増加3,930百万円と、使用権資産（純額）が4,593百万円増加、その他有形固定資産（純額）が4,042百万円増加したこと等による固定資産の増加7,218百万円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ8,681百万円増加の118,123百万円となりました。この要因は、リース債務が1,964百万円増加、未払法人税等が1,154百万円増加したこと等による流動負債の増加2,681百万円、長期借入金が2,083百万円増加、リース債務が4,117百万円増加したこと等による固定負債の増加5,999百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,467百万円増加の63,648百万円となりました。この要因は、自己株式が6,500百万円増加、親会社株主に帰属する四半期純利益7,789百万円の計上により利益剰余金が5,970百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は34.8%（前連結会計年度末は35.7%）となりました。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきまして、2023年5月9日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2023年11月10日公表の「2024年3月期第2四半期連結業績予想と実績との差異および通期連結業績予想の修正ならびに年間配当金（予想）の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,106	32,482
売掛金	1,679	1,614
商品	429	419
貯蔵品	3,374	3,883
その他	4,149	4,268
流動資産合計	38,739	42,669
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	94,648	98,003
減価償却累計額	△52,459	△55,619
建物及び構築物(純額)	42,188	42,383
土地	5,712	5,712
リース資産	32,255	34,072
減価償却累計額	△14,610	△16,351
リース資産(純額)	17,644	17,721
使用権資産	31,635	36,422
減価償却累計額	△706	△899
使用権資産(純額)	30,929	35,522
その他	56,042	64,880
減価償却累計額	△35,978	△40,774
その他(純額)	20,063	24,106
有形固定資産合計	116,539	125,447
無形固定資産	763	723
投資その他の資産		
繰延税金資産	4,216	2,697
差入保証金	8,693	8,701
その他	1,672	1,532
投資その他の資産合計	14,581	12,931
固定資産合計	131,883	139,102
資産合計	170,623	181,772

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	394	306
短期借入金	800	700
1年内償還予定の社債	342	342
1年内返済予定の長期借入金	6,102	6,329
リース債務	14,599	16,563
未払法人税等	612	1,767
契約負債	2,488	2,734
リデンプションポイント引当金	1,849	2,261
その他	10,638	9,503
流動負債合計	37,828	40,509
固定負債		
社債	628	457
長期借入金	15,696	17,780
リース債務	44,789	48,906
資産除去債務	6,794	6,715
その他	3,705	3,753
固定負債合計	71,614	77,613
負債合計	109,442	118,123
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,326	25,326
資本剰余金	26,002	26,002
利益剰余金	7,506	13,476
自己株式	△3,503	△10,004
株主資本合計	55,331	54,801
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7	15
繰延ヘッジ損益	△0	1
土地再評価差額金	△138	△138
為替換算調整勘定	5,742	8,655
その他の包括利益累計額合計	5,610	8,533
新株予約権	237	313
非支配株主持分	0	0
純資産合計	61,180	63,648
負債純資産合計	170,623	181,772

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	67,487	76,830
売上原価	58,430	63,742
売上総利益	9,056	13,087
販売費及び一般管理費	2,126	2,609
営業利益	6,929	10,477
営業外収益		
受取利息及び配当金	3	19
補助金収入	209	—
為替差益	276	246
持分法による投資利益	82	71
その他	152	135
営業外収益合計	723	473
営業外費用		
支払利息	432	330
その他	105	104
営業外費用合計	538	435
経常利益	7,115	10,515
特別利益		
関係会社株式売却益	—	159
受取補償金	—	721
新株予約権戻入益	84	—
特別利益合計	84	881
特別損失		
固定資産除却損	111	219
減損損失	5	63
特別損失合計	116	283
税金等調整前四半期純利益	7,083	11,113
法人税、住民税及び事業税	450	1,673
法人税等調整額	1,391	1,650
法人税等合計	1,842	3,324
四半期純利益	5,241	7,789
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,241	7,789

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	5,241	7,789
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	4,728	2,968
持分法適用会社に対する持分相当額	57	△45
その他の包括利益合計	4,786	2,922
四半期包括利益	10,027	10,711
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,027	10,711
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年2月10日開催の取締役会決議に基づき、第1四半期連結会計期間において自己株式11,190,300株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が6,500百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が10,004百万円となっております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結財務 諸表計上金額 (注) 2
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	42,676	24,400	67,076	410	67,487
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	42,676	24,400	67,076	410	67,487
セグメント利益又は セグメント損失(△)	3,709	4,024	7,733	△618	7,115

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国(Round One Entertainment Inc.及びその連結子会社2社)を除く海外現地法人の事業活動等を含んでおります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結財務 諸表計上金額 (注) 2
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	47,836	28,150	75,986	843	76,830
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	47,836	28,150	75,986	843	76,830
セグメント利益又は セグメント損失(△)	7,377	3,421	10,799	△283	10,515

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国(Round One Entertainment Inc.及びその連結子会社2社)を除く海外現地法人の事業活動等を含んでおります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。